



とくていひえいりかつどうほうじんえぬぴーおーすなはまびじゅつかん
特定非営利活動法人NPO砂浜美術館

特別賞

～アート・スポーツ・防災×農山漁村で活力を～



Tシャツアート展



海の脅威と恵みを学ぶ:防災学習プログラム

経緯

- 砂浜美術館は「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。」をコンセプトに、長さ4kmの砂浜を美術館に見立て、「Tシャツアート展」をはじめとしたアートイベントを開催。
- 砂浜を美術館に見立てる発想を他分野にも活用し、各取組において農山漁村との接点を積極的に構築。

取組内容

- 砂浜やその周辺エリアをフィールドに四季折々のアートイベントを開催。
- 砂浜に隣接したスポーツ施設で年間を通じて受入れている合宿・大会の宿泊・お弁当等の手配を砂浜美術館が町内の集落活動センター等へ一括して実施。
- 南海トラフ巨大地震発生時に、黒潮町は最大津波高34.4mの予測が公表される。この34.4mを地域資源にすべく「防災学習プログラム」を開発。

活動の効果

- スポーツツーリズムの宿泊数が、約1.2万泊(平成30年度)から約1.4万泊(令和4年度)に増加、防災学習プログラム体験者数は、4名(平成30年度)から約400名(令和4年度)に増加するなど、関係人口創出に寄与している。
- 大学と連携した黒潮町産業連関表の作成により地域経済の現状を可視化。経済効果が約240万円(平成23年)から約1.3億円(令和4年)に増大するなど、砂浜美術館を核とした新しい経済循環づくりに貢献している。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は、地域経済の現状を可視化し、地域事業者と共有しながら連携を深め、ここに住む私たちだから知る魅力を発信しつつ、事業者も地域内の食材を積極的に活用することで、地元産の調達率の更なる向上を図り、地域の活性化につなげていきたい。

住所・電話番号・SNS等

幡多郡黒潮町浮鞭3573-5 Tel:0880-43-4915 Instagram:sunabi_nitari

記念賞
応募

こうちしょうぎょうこうとうがっこう

しょうひんかい はつ・はんばいそくしんぶ

高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部

～ジビエ利活用で循環型社会の実現～



小学生と開発した浦ノ内スペシャルバーガー ジビエを活用したペットフード商品 改良・他校との販売を目指す「鹿ジャーキー」

取組内容

- 高知県の地域課題の一つである野生鳥獣被害に目を向け、平成30年4月に設立し、活動を開始。シカやイノシシ肉をジビエとして利活用、商品化、販売、ジビエの消費拡大、森林保護活動を行っている。
- 選定後に発展させた取組として、小学生とともに地域資源を有効活用する取組、ジビエでペットフード商品化、他校とのつながり等がある。

前回選定後の情報発信の取組

- 選定後、Instagramフォロワー400人台から現在は635人に増加。
- 地元テレビ局が配信したニュースの動画の再生回数の増加のほか、活動発表依頼数、新聞掲載(Web記事を含む)件数が増加。
- 他校の新聞部からの取材依頼を受けるようになった。
- 地元放送局が特集番組を放送するためにジビエ商品開発・販売促進部を密着取材しており、全国放送も計画されている。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 地元地域の資源を「ジビエ」ととらえた須崎市立浦ノ内小学校5年生と共同商品開発。
- 森林保護への寄付金額の増額を目指して、昨年度より利益を上げるにはどうすべきかを考えたジビエ部員はペットフード商品化を決定。
- さらに自分たちでこの活動をより多くの人に知ってもらおうと全日本鹿協会主催の「シカ展2023」などでジビエ部が取組の活動発表を行った。その中で同じくジビエを取り扱い、地域活動を展開している高校生と交流しつながることができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

「何をやっても無駄なことはない。すべてがつながる日が来る」と先輩たちが後輩たちに引き継いできたことを継承し、ジビエで陸の豊かさを守り抜くため、ジビエ部は変わり続け、挑戦し続けます。

住所・電話番号・SNS等

高知市大谷6番地 Tel:088-844-0267

